

両院協議会の協議概要

平成二十五年度一般会計予算外二件両院協議会

(1) 協議概観

平成25年2月28日国会に提出された平成二十五年度総予算3案は、4月16日衆議院で可決されたものの、5月15日参議院で否決された。衆参両議院の議決が異なったため、衆議院から両院協議会を求められ、同日の本会議において、院議を構成した会派である民主、みんな、生活、共産の各会派から協議委員を選任した。

協議委員は直ちに両院協議会参議院協議委員議長及び副議長互選会を開き、議長に小川敏夫君を、副議長に小林正夫君を互選した。

両院協議会においては、まず、くじによる抽せんの結果、衆議院側の山本有二協議委員

議長が協議会議長となった。その後、両院における議決の趣旨説明が行われ、その後各協議委員から種々意見が述べられ、最後に、参議院側を代表して小林正夫協議委員から、また、衆議院側を代表して伊藤達也協議委員から、それぞれ締めくくりの発言が行われたものの、成案を得るに至らず、その旨各議院に報告することとなった。

両院協議会の後、衆参両議院の本会議において両院協議会の経過及び結果について各議院の協議委員議長からそれぞれ報告が行われた。その結果、平成二十五年度総予算3案は、憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決が国会の議決となった。

(2) 協議経過

○平成25年5月15日（水）（第1回）

○成案を得なかった。

(3) 平成二十五年度一般会計予算外二件両院協議会参議院協議委員議長報告

平成二十五年度一般会計予算外二件両院協議会の経過及び結果について御報告申し上げます。

本院協議委員は、先ほどの本会議におきまして、議長より指名されました後、直ちに協議委員議長及び副議長の互選を行い、その結果、協議委員議長に私、小川敏夫が、副議長に小林正夫君がそれぞれ選任されました。

両院協議会の初会の議長はくじにより決することとなっておりますので、開会に先立ち抽せんを行いました結果、衆議院側において議長を務めることとなりました。

協議会におきましては、衆議院側から、成長による富の創出に予算が重点配分されていること、国民の命と暮らしを守る予算となっていること、歳出の見直し、適正化を図り、国債発行額を抑制

していること等の理由で原案どおり可決した旨の説明があり、次に、本院側から、財政健全化への取組が後退していること、地域主権改革に逆行していること、公共事業に偏重し、人への投資や社会保障を軽視していること等の理由により、否決した旨の説明がありました。

続いて、両院の各協議委員から種々の意見が表明され、協議が行われましたが、意見の一致を見るに至らず、両院協議会としましては成案が得られませんでした。

以上、御報告申し上げます。

(4) 協議表

案 件	請求議院	請求の理由	請求日	本院 協議委員 選挙日	両 院 協議会 開会日	成案の議決		備 考
						参議院	衆議院	
平成二十五年度一般会計予算外二件	衆議院	両議院議決不一致	25. 5. 15	25. 5. 15	25. 5. 15	協議会において成案を得なかった		憲法第60条第2項により衆議院の議決が国会の議決となった

(5) 協議委員

議 長	小川 敏夫君 (民主)	広田 一君 (民主)	森 ゆうこ君 (生活)
副議長	小林 正夫君 (民主)	松浦 大悟君 (民主)	大門実紀史君 (共産)
	小見山幸治君 (民主)	水岡 俊一君 (民主)	
	白 眞勲君 (民主)	真山 勇一君 (みん)	